

KSKQ

一般社団法人 日本障害者カヌー協会 機関紙
パラマウント通信

2020/7/11
カヌーがやりたいぞ!
定時社員総会報告号
No.80

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八日)発行



オンライン総会の様子

『2020年度 日本障害者カヌー協会 定時社員総会』が行われました。

6月7日(日)、2020年度日本障害者カヌー協会定時社員総会が行われました。今回はコロナウイルス感染拡大防止で都道府県をまたぐ移動が出来ない為に、初のオンラインでの総会になりました。総会の詳細につきましては次号の機関紙で報告させていただきますが、今回は総会で承認されました2019年度の活動の報告と決算報告、2020年度の事業計画を報告させていただきます。

6月7日(日)2020年度日本障害者カヌー協会定時社員総会がオンラインで行われました。
参加者は山形、東京、神奈川、愛知、静岡、石川、岐阜、大阪、兵庫、京都、香川、高知から20名(1名欠席委任状)の参加がありました。
まずは吉田会長の挨拶を載せさせていただきます。

拝啓 梅雨の候、皆様にはコロナとの共存の不自由さにあって大変なご苦労をされておられることと案じております。平素より日本障害者カヌー協会の活動に格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
令和2年6月7日に、動画アプリを利用した年次総会を開催いたしました。新しい取り組みでしたが、遠隔での参加が可能という事もあり総勢20名の社員が参加し、今までの年次総会では最も多くの参加者数となり、2019年度の活動の報告と決算報告、2020年度の事業計画が承認されました。皆様にご報告させていただきます。

今号は定時総会報告号になります。2頁に2019年度事業報告を、3頁に2020年度事業計画、正味財産増減計算書、貸借対当表を載せさせていただきます。あと、会員の皆さまには4月の会員更新期に会費振込の払込用紙が送れず申し訳ございませんでした。未入金の方には払込用紙を同封しておりますので会員更新をお願いします。
まだコロナウイルスが終息したわけではありません。協会も活動再開に向けて、コロナウイルス感染を避け、安全にイベント(大会)が出来るように感染予防対策を考えた各種ガイドラインを作っています。
皆さまと笑顔でカヌーが楽しめる日が早く来ることを切に願っております。

◆2019年度事業報告①



2019年度事業報告

2019年の事業として、東京2020年に向け強化体制の構築、強化事業、パラマウントチャレンジカヌーの実施、自治体との連携によるパラマウントチャレンジカヌーサポーター講習会の実施など、新しい企画や委託事業も増えました。

普及部 パラリンピックサポートセンター助成事業による拠点設備の拡大

【普及事業】

ラクスリーナ内 Canoe Base の拡大

追加購入競技艇：バイダバラ艇 2 艇、Nelo バラ艇 2 艇、ネロ Va'a 1 艇、アナハラ Va'a 2 艇

追加器具：エルゴマシン カヤックプロ 2 艇

【普及活動】

n

体験会（選手発掘や室内プール体験会）

年間、霞ヶ浦バラ4回、広島バラ、大阪バラ、山形バラ、静岡バラ、全国200M競漕

★サポーター講習会

B&G 全国研修会、宮城県加美町の委託事業、機光町サポーター講習会、

障害者カヌーについて（障害者と介助者の異なる立場の講師 2 人体制での講義とワークショップ）

今期のバラチヤを行う中で、パラリンピックサポートセンターの助成により購入した競技艇バラカヌーカヤックを体験できる形にし、2020年東京パラリンピックに向けてバラカヌー競技の認知度の向上と選手発掘を同時に行いました。また、競技艇の体験ができるバラチヤとして、だれでもチャレンジしてもらい競技を知ってもらう機会となりました。

拠点である船庫の拡大と競技艇の配置、エルゴの配置を行い、依頼された際には貸し出しを行う事で事業の収益になる事と、室内でもカヌー類似体験ができることで競技紹介に努めました。

【委託を受けた普及事業】

B&G 財団の毎年開催の指導者研修会に講師として招かれ、80名の研修生に障がい者の理解とサポートについて講義を行った後、フットイングのワークショップを行いました。会長を障害者モデルとして、沖縄の海で障害者カヌー実習を行いました。

東京都の委託事業の選手発掘事業へも近隣の会員をインストラクターとして派遣し、競技カヌーとレクレーションカヤックを体験していただきました。

地域との連携を行い、地域の障害者スポーツ指導員やカヌー関係者へサポーター講習会を行い、地域

◆2019年度事業報告②



で地域の障害者を受け入れることが出来る体制作りをスタートさせました。

サポーターとして関わっていただいた方々にも、カヌーを体験してもらいカヌーを知っていただく事を行いました。協会活動の基本となる、参加する方全員が同じ楽しさを共有できる時間を作ることが出来ました。

【広報事業】

広報活動の一環及び寄付の返礼として、引き続き T シャツを追加（カラー追加）で製作。他少しずつアイテムを追加しています。半袖のストゥート、パーカー、七部シャツ、ウォーターボトル

協会冊子第 1 号の青版「カヌー楽しい、滑ってみようよ」は、企業や自治体への活動紹介冊子として配布し、活動理念を伝えることに活用しています。初版の 500 冊から追加で 500 冊を増刷、贈呈カヌーガイド 1000 部増刷

Facebook ページを充実させ、HP のリニューアルに向けて整理を行いました。新鮮な情報発信と、選手達に必要な情報をわかりやすく発信できるように努めました。

競技について報道関係者向けのセミナーの講師として登壇、パラネットの広報セミナー、NHK 宇都宮放送メディアサービスなど。日本代表選手のメディア露出、事務局のメディア露出、取材対応など、全国各地へ色がるファンつりのため、多くの選手にご協力いただきました。

【人材育成事業】

3月に第3回国内クラス分け養成講習会として、2年間のおさらいと新しい情報のアップグレードとして、国内クラス分け委員スキルアップ講習会を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。（石川県小松市にて）

強化事業内で、地域トレーナーやトレーナー部会入部のトレーナーの積極的参加を促し、次世代のトレーナーとして育成する機会となりました。引き続き、トレーナー部会には合宿日程を共有して頂き、積極的な参加を促して頂きます。

【選手強化事業】

年間を通して強化合宿を主に石川県木場湖カヌー競技場で開催し、韓国との交流合宿（インチョン）、岐阜県の合宿誘致事業による岐阜県合宿、海の森競技場のプレトレーニングチャンスの期間の有効利用、テストイベント、国際大会 2 大会に選手とスタッフの派遣を行いました。

実施事業

・4月8日～5月14日 ワールドカップ事前合宿 木場湖カヌー競技場

◆2019年度事業報告③



- ・4月24日～4月30日 韓国国際交流合宿 ソウル派遣
 - ・5月17日～5月27日 ワールドカップ派遣 ポーランド
 - ・6月1日～8月14日 世界選手権事前合宿 木場湖カヌー競技場
 - ・8月17日～8月27日 世界選手権大会 ハンガリー
 - ・9月1日～9月6日 日本選手権大会 東京海の森競技場
 - ・9月9日～9月15日 テストイベント 東京海の森競技場
 - ・9月16日～18日 ICF 国際クラス分けワークショップ 東京海の森競技場
 - ・9月30日～10月13日 強化合宿 木場湖カヌー競技場
 - ・10月 プレトレーニングチャンス 東京海の森競技場
 - ・11月以降、ヘッドコーチが地域へ訪問し指導を行う。
 - ・11月22日～29日 岐阜県八百津合宿
 - ・3月14日、15日（延期によって3月29日に開催）海外派遣選考記録会 木場湖カヌー競技場
 - ・3月20日～27日 第5回バラカヌーアジア選手権大会
- 新型コロナウイルス感染症の影響によって中止

国内大会では、日本カヌー連盟バラ競技運営との連携を行い、日本カヌー連盟主催大会のバラ選手のエントリー管理やクラス分けについての役割を担い共同主催として大会運営を行いました。レスキュー役員、クラス分け役員は大会役員として派遣し、大会ボランティアを募り 100 名近くの方に運営のお手伝いをしていただきました。

【体制整備事業】

選手の強化と並行して、指導者やスタッフの専門性を高める研修に参加していただき全体のレベルアップと意識の向上に努めました。

トレーナー連絡会議、ドクター連絡会議、クラス分け担当会議、コーチ会議、アンチドーピング研修会、複数領域研修会、医科学研修会、

その他、組織基盤整備のための研修会としてガバナンス研修会や日本パラリンピック委員会加盟団体会議、障がい者スポーツ協議会会議、スポーツ庁との協同コンサルテーションや強化ヒアリングなどに出席し、競技部全体の意識の向上と自己研鑽に取り組みました。

強化指定選手に、メディカルチェック、栄養指導、心理サポートなどを行い心身共にあるべき健康に配慮した強化活動を推進しています。

◆2019年度事業報告④



【人件費】

事務局員 1 名（上岡）をパラリンピックサポートセンター助成金で常勤として雇用、7 月より事務補助として週 2 回の臨時パート事務員（久保）を追加雇用。もう 1 名（吉田）が日本スポーツ振興センター競技力向上事業（強化費）助成金で常勤雇用。

【協賛企業】

スポンサー契約

シルバースポンサー SOMPO ひまわり生命

ブロンズスポンサー テスホールディングス株式会社

ブロンズスポンサー 株式会社グローセル（2020年1月4半期分からスタート）

物品協賛 株式会社 NANGA、日本モーターボート選手会、

パラリンピックサポートセンターの基盤強化助成が 2021 年 12 月までとなり、JSC の事務局員費金の助成金が 2021 年 3 月までとなっています。

継続した協会運営のための資金調達が急務となっていますので、2020 以降も継続した運営を行うためには、協賛していただいている企業を大切に、さらに協賛いただける企業へのアプローチを行っていかねばなりません。

東京 2020 を機に日本では障がい者スポーツに注目が集まり、競技だけでなくスポーツを通じて共生社会への発展を目標とした社会活動がスポーツ庁の指針となっています。

全国でカヌーを楽しむ人口を増やし、同時に世界へチャレンジする選手を発掘育成することを続けるための協会事業を継続するために、2020 年度も日本障害者カヌー協会の活動を多方面に拡大する方針です。

正味財産増減計算書

自:平成31年4月1日 至:令和2年3月31日

一般社団法人日本障害者カヌー協会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 助成金収入	(44,294,200)	(33,466,892)	(10,827,308)
② 会費収入	(1,044,140)	(5,103,853)	(-4,059,713)
③ 寄付金収入	(9,884,164)	(2,471,997)	(7,412,167)
④ 雑収益	(191)	(1,729,799)	(-1,729,608)
受取利息	191	1,140	-949
雑収入	0	1,728,659	-1,728,659
経常収益計	55,222,695	42,772,541	12,450,154
(2) 経常費用			
給与手当	9,069,960	8,128,115	941,845
法定福利費	1,272,692	1,454,300	-181,608
外注費	5,968,933	10,074,426	-4,105,493
通信費	274,585	188,506	86,079
荷役運賃	105,600	60,336	45,264
旅費交通費	14,073,269	19,201,514	-5,128,245
広告宣伝費	139,558	739,248	-599,690
接待交際費	150,866	35,840	115,026
事務用品費	110,574	456,166	-345,592
消耗品費	2,988,366	635,325	2,333,041
新聞図書費	49,453	0	49,453
修繕費	59,400	0	59,400
地代家賃	941,709	333,440	608,269
保険料	203,394	165,450	37,944
租税公課	400	0	400
諸会費	130,400	236,234	-105,834
リース料	0	406,912	-406,912
支払手数料	1,331,142	196,152	1,134,990
減価償却費	1,100,544	0	1,100,544
賃借料	784,213	471,178	313,035
雑費	10,079	51,071	-40,992
経常費用計	38,745,137	42,834,213	-4,089,076
当期経常増減額	16,477,558	-61,672	16,539,230
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収入	1,076,387	0	1,076,387
経常外収益計	1,076,387	0	1,076,387
(2) 経常外費用			
雑損失	194,602	0	194,602
経常外費用計	194,602	0	194,602
税引前当期一般正味財産増減額	17,359,343	-61,672	17,421,015
法人税、住民税及び事業税	70,027	70,000	27
当期一般正味財産増減額	17,289,316	-131,672	17,420,988
一般正味財産期首残高	-224,669	-92,997	-131,672
一般正味財産期末残高	17,064,647	-224,669	17,289,316
II 正味財産期末残高	17,064,647	-224,669	17,289,316

貸借対照表

令和2年3月31日 現在

一般社団法人日本障害者カヌー協会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,784,401	3,373,591	5,410,810
未収入金	5,593,980	0	5,593,980
流動資産合計	14,378,381	3,373,591	11,004,790
2. 固定資産			
工具器具備品	4,071,456	0	4,071,456
固定資産合計	4,071,456	0	4,071,456
資産合計	18,449,837	3,373,591	15,076,246
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,087,579	3,343,639	-2,256,060
仮受金	58,406	0	58,406
預り金	169,205	184,621	-15,416
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	1,385,190	3,598,260	-2,213,070
負債合計	1,385,190	3,598,260	-2,213,070
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	17,064,647	-224,669	17,289,316
正味財産合計	17,064,647	-224,669	17,289,316
負債及び正味財産合計	18,449,837	3,373,591	15,076,246



2020年度障害者カヌー協会事業計画

第1回強化合宿	7月4日~19日	木場潟カヌー競技場	
全国200M競漕	8月8日練習・9日イベント	木場潟カヌー競技場	第3回目 パラカヌー全国大会【ゴールドウィン助成普及事業】
第2回強化合宿	8月22日~9月6日	木場潟カヌー競技場	
パラカヌー競技役員講習会	9月5日6日(予定)	海の森競技場	パラリンピックや国内大会の競技役員講習会、審判講習会も同時開催
日本選手権大会	9月9日~13日	木場潟カヌー競技場	日本カヌー連盟主催・障害者カヌー協会共催 カヌーの全国大会
パラマウントチャレンジカヌー-IN山形	9月20日21日	グリバー寒河江	競技体験&川下り どちらも楽しめるイベント
パラカヌーワールドカップ	9月24日~27日	ハンガリーセゲド	国際カヌー連盟主催
パラマウントチャレンジカヌー-IN千葉	9月27日	千葉県横芝光町	
コーチ講習会	10月3日4日(予定)	木場潟カヌー競技場	※外部講師による関係者メインのコーチ講習会(外部参加OK) 【国庫補助事業: 競技別指導者講習会助成事業】
パラマウントチャレンジカヌー-IN霞ヶ浦	10月18日	ラクスアリーナ	
第3回強化合宿 (韓国合同)	10月24日~11月7日	木場潟カヌー競技場	韓国チーム10月31日~合流 【外務省スポーツ外交推進事業: チーム招聘助成】
国内クラス分け講習会	11月28日29日	木場潟カヌー競技場	【国庫補助事業: 競技別指導者講習会助成事業】
海外回派遣選手選考会	3月	坂出市府中湖カヌー競技場	日本カヌー連盟主催・障害者カヌー協会共催 カヌーの全国大会

※新型コロナウイルス感染症の影響によって変更する場合があります。

【白色】: 選手強化事業 ■: 普及イベント(誰でも参加可能!) ■: 公認資格取得のための事業 (会員入会が必要)

中止のお知らせ

79号のイベントカレンダーで、お知らせしておりました。各地のパラマウントチャレンジカヌーが新型コロナウイルスの影響で中止となっております。今後も変更の可能性がありますので詳細、更新情報は協会HPイベントカレンダーをご確認ください。

6月	パラマウントチャレンジカヌー in 大阪
7月5日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 京都
10月4日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 円山川
10月10日(土)・11日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 奈良

協会HPイベントカレンダー▶▶▶



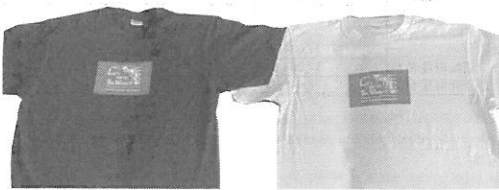
Let's out on the Water with Mask!!

日本障害者カヌー協会 寄付オリジナルマスク

おしゃれは
口元から!
協会マーク
が映えます!

日本障害者カヌー協会 寄付オリジナルマスクが完成しました!
夏にも快適に使って頂ける様に、表面は速乾性の水着素材を、裏面には冷感素材を使用しています。

マスク色は、うす水色で、どんな場所でも邪魔すること無く使って頂けます。
この夏の新型コロナウイルス予防、日焼け予防に是非活用下さい。
寄付 1800円でマスク1枚のプレゼントです!
お申し込みは右記 URL から送付書をダウンロード頂きお申し込み下さい!



Appreciate all the help!!!

たくさんのご支援に感謝を込めて

日本障害者カヌー協会も 2017年の一般社団法人設立から3年が経ちました
設立当初からご好評頂いております寄付Tシャツの新色が完成しました!
色は、白・黒の2色。素材はコットン 100%。サイズは WM / S / M / L / XL
の5種類を用意しております。

寄付 2500円でTシャツ1枚のプレゼントです!
たくさんの方々のご支援が協会の力となっています。引き続きご支援賜りますようお願い致します。お申し込みは右記 URL から送付書をダウンロード頂きお申し込み下さい!



胃中には
メッセージが
and more
canoeist!!!!

Appreciate all the help!!!
SOMPO HIMAWARI LIFE
Glosel Co., Ltd.
LACUS MARINA B&G
NANGA MONT-BELL NEXUS DESIGN
PROFESSIONAL MOTORBOAT RACERS
MANY CANOE ASSOCIATION
AND MORE CANOEIST!!!

第3回全国200M競漕大会開催のお知らせ

8月8日(土)、9日(日)石川県、木場潟競技場で、今シーズン初のカヌーイベント!! 第3回全国200M競漕IN木場潟、開催します!!
新型コロナウイルス感染でイベント自粛が続いた中、そろそろ新しいカヌー=スポーツスタイルの提案と称して、コロナ対策をた一つ盛り込んだ安全で楽しいカヌーイベントを企画しています。是非、コロナに負けない安全で元気なイベントを皆で一緒に作っていきましょう!

【簡単なイベントプログラム】

- チームに分かれてポイント獲得、チーム対抗戦!
- ★200M全力で漕いでレース!(個人ポイント獲得でチームポイントに)
- ★ドラゴンボートレース(チーム一段となって勝ちポイントゲット!)
- ★玉入れ(玉の数だけポイントゲット!最終白熱戦です)

詳細、エントリーは協会HPをご覧ください



(一社)日本障害者カヌー協会から会員更新手続きが出来ていない会員の方の更新のお願いです。

事務局
連絡先

〒107-0052
東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル4階
(一社)日本障害者カヌー協会
電話 03-6229-5440

編集人

〒630-0201 奈良県生駒市小明町 493-17 吉田義朗 方

会費
振込先

*郵便振替です
〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会
〈口座番号〉 01020-7-12908
※他金融機関からの振込口座番号
-〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座 0012908

会員の皆様、毎年4月は会員資格の更新月になっております。右記会費振り込み先に更新会費2000円の振り込みをお願いいたします。振り込み確認次第、会員カードに貼って頂く、更新ステッカーを送らせて頂きます。

この広報誌は会員の皆さまの会費で発行させて頂いております。会費更新手続きが出来ていない方には払込用紙を送らせて頂いております。是非会員更新手続きをお願いいたします。



SOMPOひまわり生命

あなたが健康だと、だれかがうれしい。

ホームページ: <http://www.japan-paracha.org/>
協会へのご連絡、お問合せは、ホームページの「協会への問合せ」からお願いします。



Glosel